

戦略の柱 1 歌志内ならではの魅力ある産業をつくり、雇用を確保する

基本目標	指標	基準値	実績値					目標値	歌志内市総合開発審議会所見
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	新規創業件数	1件 /H26	0件 (H27:0)	0件 (H28:0)	3件 (H29:3)			5件以上 /5年間	産業・雇用については、歌志内の現状を考えると厳しい部分もあるが、少しずつ成果も現れてきていると感じる。今後は、下記の事項を参考に取り組みたい。 ・観光については、ちょっとした風評が利用者の増減に直結するため、きめ細かな配慮により対応する必要がある。また、利用者からの声を聞く必要がある。 ・近隣市町からではなく、都市部(札幌、首都圏など)から人を呼び込むための取り組みが必要である。
2	観光入込客数	362,556人 /H26	1% 364,859人	△4% 348,169人	△4% 349,144人			5%以上 /H31 (380,684人)	

施策名											
指標名	基準値	重要業績評価指標(KPI)					目標値	事業内容			
		実績値						事業名	具体的事業		事務事業名
		H27	H28	H29	H30	H31			今後の取り組み	評価等	
① 地域資源を活かした産業・雇用の創出											
温泉施設宿泊者数	15,673人 /H26	△5% (14,902人)	4% (16,354人)	6% (16,655人)			10%増 /5年間 (17,241人)	アウトドア関連産業の育成	「地域資源を活かした産業・雇用の創出」のため、右欄の事務事業を実施した。今後もKPIの目標値達成を意識しながら、効果的な事業を展開していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品開発支援事業</li> <li>・地場産品普及啓発事業</li> <li>・札幌歌志内会30周年記念事業</li> <li>・葉草栽培試験研究事業</li> <li>・大曲地区農業奨励補助事業</li> <li>・圃場整備事業(フェンス設置)</li> <li>・圃場整備事業(苗木購入)</li> <li>・圃場整備事業(その他備品購入)</li> <li>・ワイン用ぶどう試験栽培事務経費</li> <li>・道の駅管理業務</li> <li>・道の駅空調設備改修</li> <li>・道の駅内部改修</li> <li>・温泉施設利用促進事業</li> <li>・温泉施設整備事業</li> <li>・アリーナチロル活用推進事業</li> <li>・観光一般事務経費</li> <li>・スキー場運営事業</li> <li>・リフト整備</li> <li>・保養施設運営事業</li> <li>・保養施設整備事業(ろ過器)</li> <li>・保養施設整備事業(窓枠)</li> <li>・観光情報発信補助事業</li> <li>・産炭地振興事業</li> <li>・市民祭り実行委員会補助事業</li> <li>・歌志内塊勢補助事業</li> <li>・なまはげの会補助事業</li> </ul>	
食(農業・食品加工・飲食)に関連した新規雇用者数	—	0人 (H27:0)	1人 (H28:1)	1人 (H29:0)			3人 /5年間	観光サービス産業の育成			
交流・観光サービス(アウトドア・宿泊)に関連した新規雇用者数	—	1人 (H27:1)	1人 (H28:0)	2人 (H29:1)			5人 /5年間	食(フード)産業の育成			
② 市民生活から派生するコミュニティビジネス等の創出											
コミュニティビジネス従事者数	—	0人 (H27:0)	0人 (H28:0)	0人 (H29:0)			1人以上 /5年間	コミュニティビジネス等創業支援 コミュニティビジネス等活動支援	「市民生活から派生するコミュニティビジネス等の創出」については、各種会合等で可能性について聞き取りをするも進展はなく、具体的事業の実施には至らなかった。今後も、KPIの目標値達成に向けて調査を続けていきたい。	(実施事務事業なし)	(実施事務事業なし)

## 戦略の柱 2 若者や子育て世代が定住しやすい環境をつくる

基本目標	指標	基準値	実績値					目標値	歌志内市総合開発審議会所見
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	20～44歳人口の 社人研推計との 比較	761人 /H26	624人	584人	559人			24人増 /H32 (537→561人)	定住環境については、歌志内の現状を考えると厳しい部分もあるが、事業実績による成果も現れてきていると感じる。今後は、下記の事項を参考に取り組まれない。 ・定額、低額な家賃設定の公営住宅の導入や、民間賃貸住宅の建設費助成などによる住環境の整備を行う必要がある。 ・情報発信力が弱いと感じる。思い切った情報発信をする必要がある。

施策名											
指標名	基準値	重要業績評価指標(KPI)					目標値	事業内容			
		実績値						具体的事業		事務事業名	
		H27	H28	H29	H30	H31		事業名	今後の取り組み	事務事業名	評価等
① 移住促進策											
地域おこし協力 隊員数	—	延べ 2人 活動2人	延べ 4人 活動3人	延べ 4人 活動2人			5人 /H31	移住対策パッ ッケージ化 移住スタートアッ プ支援移住促進 経済支援	「移住促進策」のため、右欄の事務 事業を実施した。 今後もKPIの目標値達成を意識しな がら、効果的な事業を展開してい きたい。	・北海道空知地域創生協議会 ・中空知定住自立圏・しごとの魅力発信と 総合的な就業・移住支援事業 ・地域おこし協力隊事業(農林業) ・ちよっと暮らし体験推進事業 ・地域おこし協力隊事業(魅力発信) ・空き家バンク	別添「事務事業評価 総括表」に記載のと おり
ちよっと暮らし体 験利用者数	—	0人 (H27:0)	0人 (H28:0)	6人 (H29:6)			10人 /5年間	移住促進情報発 信等の強化 地域おこし協力 隊制度の積極的 活用			
② 居住環境対策											
子育て世代向け 住宅建設棟数	—	0棟	0棟	0棟			3棟 /5年間	居住ニーズに対 応した公的住宅 の提供	「居住環境対策」のため、右欄の事務 事業を実施した。 今後もKPIの目標値達成を意識しな がら、効果的な事業を展開してい きたい。	・定住促進助成事業 ・住宅改修助成事業	別添「事務事業評価 総括表」に記載のと おり
住宅建設等助成 制度利用件数	—	24件 定住促進5件 住宅改修19件 /H27	53件 定住促進3件 住宅改修26件 /H28	84件 定住促進3件 住宅改修28件 /H29			75件 /5年間	民間賃貸住宅建 設助成 住宅建設等助成 制度の充実			
③ 大学との連携による人材育成等											
市内サークル活 動等の参加者数	—	0人	13人	52人			20人増 /H31	交流学生受け入 れの対策	「大学との連携による人材育成等」 のため、右欄の事務事業を実施し た。 今後もKPIの目標値達成を意識しな がら、効果的な事業を展開してい きたい。	・大学生(幼児教育科)との交流 ・チロル学園やサークル活動における大学生との交流	別添「事務事業評価 総括表」に記載のと おり
年間延べ滞学 生数	—	0人	40人	49人			75人 /年間	地域人材の育成			
④ 若者・子育て世代の雇用の確保											
産業開発促進事 業申請件数	—	0件 (H27:0)	0件 (H28:0)	0件 (H29:0)			1件 /5年間	中小企業への支 援強化	「若者・子育て世代の雇用の確保」 のため、右欄の事務事業を実施し た。 今後もKPIの目標値達成を意識しな がら、効果的な事業を展開してい きたい。	・企業誘致対策事業 ・誘致企業向け住宅管理経費 ・中小企業振興保証融資事業 ・保証融資利子補給事業	別添「事務事業評価 総括表」に記載のと おり
女性の起業化相 談件数	—	0件 (H27:0)	0件 (H28:0)	0件 (H29:0)			3件 /5年間	若者・子育て世 代のためのしごとづ くり支援 女性が働きやす い環境の整備			

戦略の柱 3 子どもを産み、育てやすい環境をつくる

基本目標	指標	基準値	実績値					目標値	歌志内市総合開発審議会所見
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	合計特殊出生率	1.24 H27推計	1.24	1.24	1.24			1.40 H32	子育てについては、歌志内の現状を考えると厳しい部分もあるが、少しずつ成果も現れてきていると感じる。今後は、下記の事項を参考に取り組みたい。 ・歌志内の子育て支援策は充実しているが、近隣市町からではなく、都市部(札幌、首都圏など)から人を呼び込むための取り組みが必要である。 ・情報発信力が弱いと感じる。思い切った情報発信をする必要がある。
2	0~14歳人口	278人 /H26	214人	179人	165人			(198→231人) /2020:H32	

施策名	重要業績評価指標(KPI)							事業内容				
	指標名	基準値	実績値					目標値	具体的事業		事務事業名	
			H27	H28	H29	H30	H31		事業名	今後の取り組み	事務事業名	評価等
① オンリーワンの子育て・教育の実現												
認定こども園の開設	—	—	—	—			H30	0-14歳児一貫子育て・教育	「オンリーワンの子育て・教育の実現」のため、右欄の事務事業を実施した。今後もKPIの目標値達成を意識しながら、効果的な事業を展開していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひよこスクール</li> <li>・福祉医療費助成事業(子ども医療)</li> <li>・認定こども園施設建設事業</li> <li>・子育て世帯の経済的負担軽減事業</li> <li>・遠距離通学費</li> <li>・高等学校等就学支援金</li> <li>・修学旅行費用助成事業</li> <li>・基礎体力向上(スキー)</li> <li>・外国青年招致事業(幼稚園)</li> <li>・外国青年招致事業(小中学校)</li> <li>・特別支援教育事業</li> <li>・幼小中地域連携事業</li> <li>・放課後子どもプラン推進事業</li> </ul>	別添「事務事業評価総括表」に記載のとおり	
子育て支援満足度	—	—	—	—		50% /H31	子育て・教育施設集約化					
子育て支援センター開設	—	—	—	—		H30	子育て応援環境整備					
ICTを活用した授業の満足度	—	92% H28.3実施	92% H28.3実施	92% H28.3実施		50%以上 /H31	経済的子育て支援 情報教育の推進					
② 結婚奨励策												
婚姻数	—	12組	8組	4組			15組 /年	結婚促進対策	「結婚奨励策」のため、定住自立圏として右欄の事務事業を実施した。今後もKPIの目標値達成を意識しながら、効果的な事業を展開していきたい。	(-中空知定住自立圏・しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業)戦略の柱2-①と重複	別添「事務事業評価総括表」に記載のとおり	
婚活イベントの開催数	—	0回	1回	1回			1回以上 /年	結婚に対する支援				
③ 出産応援策												
出生数	12人 /年平均 (H22~H26)	9人 (H27:9)	17人 (H28:8)	25人 (H29:8)			69人 /5年間	相談・サポート支援 出産に対する地域社会の意識改革	「出産応援策」のため、右欄の事務事業を実施した。今後もKPIの目標値達成を意識しながら、効果的な事業を展開していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦面接指導・妊婦訪問指導</li> <li>・妊婦健康診査</li> <li>・子ども・子育て支援事業</li> </ul>	別添「事務事業評価総括表」に記載のとおり	
妊婦定期健診受診率	—	97%	96.8%	93.1%			100%	働く女性の出産支援 妊娠・出産に対する支援				

戦略の柱 4 乳幼児から高齢者まで安全で安心して暮らせるコンパクトなまち(コンパクトシティ)をつくる

基本目標	指標	基準値	実績値					目標値	歌志内市総合開発審議会所見
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	小さな拠点施設の設置箇所	0箇所 /H26	1箇所	1箇所	1箇所			2箇所 /H31	コンパクトシティについては、基本目標値を意識しながら、戦略の柱に位置づけた「乳幼児から高齢者まで安全で安心して暮らせるコンパクトなまち(コンパクトシティ)をつくる」ために今後も事業を展開されたい。
2	空き家件数	243件 /H26	9%増 (266件)	5%減 (231件)	14%減 (209件)			10%減 /H31年 (218件)	

施策名	重要業績評価指標(KPI)							事業内容				
	指標名	基準値	実績値					目標値	具体的事業		事務事業名	
			H27	H28	H29	H30	H31		事業名	今後の取り組み	事務事業名	評価等
① 特色ある魅力的な小さな拠点の形成												
子育て応援タウンに対する市民満足度	-	-	-	-			50% /H31	特色ある魅力的な交流拠点の整備	「特色ある魅力的な小さな拠点の形成」のため、右欄の事務事業を実施した。 今後もKPIの目標値達成を意識しながら、効果的な事業を展開していきたい。	・コミュニティセンターの充実 ・コミュニティセンターの整備	別添「事務事業評価総括表」に記載のとおり	
								快適かつ安全・安心して暮らせる機能・施設の整備				
多機能型交流拠点施設の利用者数	16,250人 /H26 公民館13,523 図書館2,727	21%増 (19,637人)	39%増 (22,611人)	19%増 (19,302人)			25%増 /H31 (20,313人)	多様な居住環境の整備				
② スリムな市街地への再編												
公営住宅の集約率	住替予定 全99戸	2% 住替2戸 (H27:2)	9% 住替9戸 (H28:7)	35% 住替35戸 (H29:26)			30% /H31	住宅地の集約化	「スリムな市街地への再編」のため、右欄の事務事業を実施した。 今後もKPIの目標値達成を意識しながら、効果的な事業を展開していきたい。	・空家対策事業	別添「事務事業評価総括表」に記載のとおり	
								市民の暮らしを支える移動システムの整備				
生活のしやすさに対する市民満足度	-	-	-	-			75% /H31	広域連携による定住環境の確保				